

## 平成26年の福岡県鉱工業指数の動向

### 1 概況

(1) 業種別動向（全19業種・主要業種の動向はp.5以降を、全業種の推移はp.13以降を参照）

① 生産

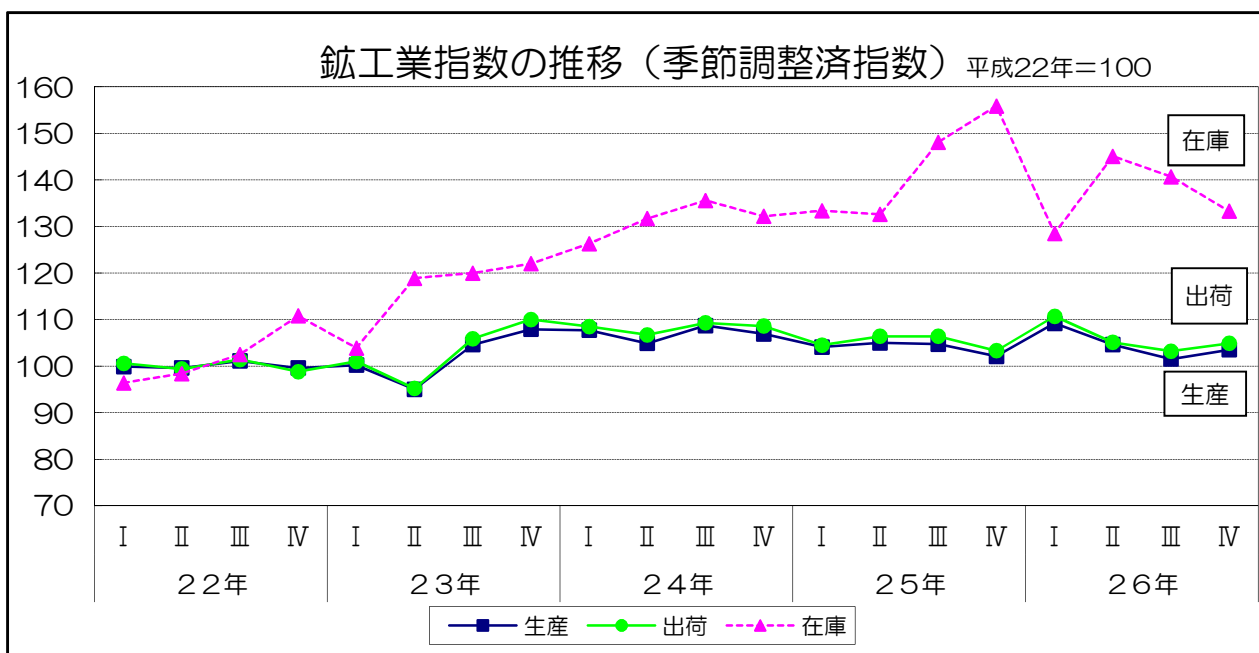
26年の生産指数は104.6で、前年比0.7%増と2年ぶりの上昇となった。  
業種別では、食料品・たばこ工業、輸送機械工業など8業種は低下したものの、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業など11業種が上昇した。

② 出荷

26年の出荷指数は105.9で、同0.8%増と2年ぶりの上昇となった。  
業種別では、食料品・たばこ工業、輸送機械工業など7業種は低下したものの、電子部品・デバイス工業、はん用・生産用機械工業など12業種が上昇した。

③ 在庫（全18業種）

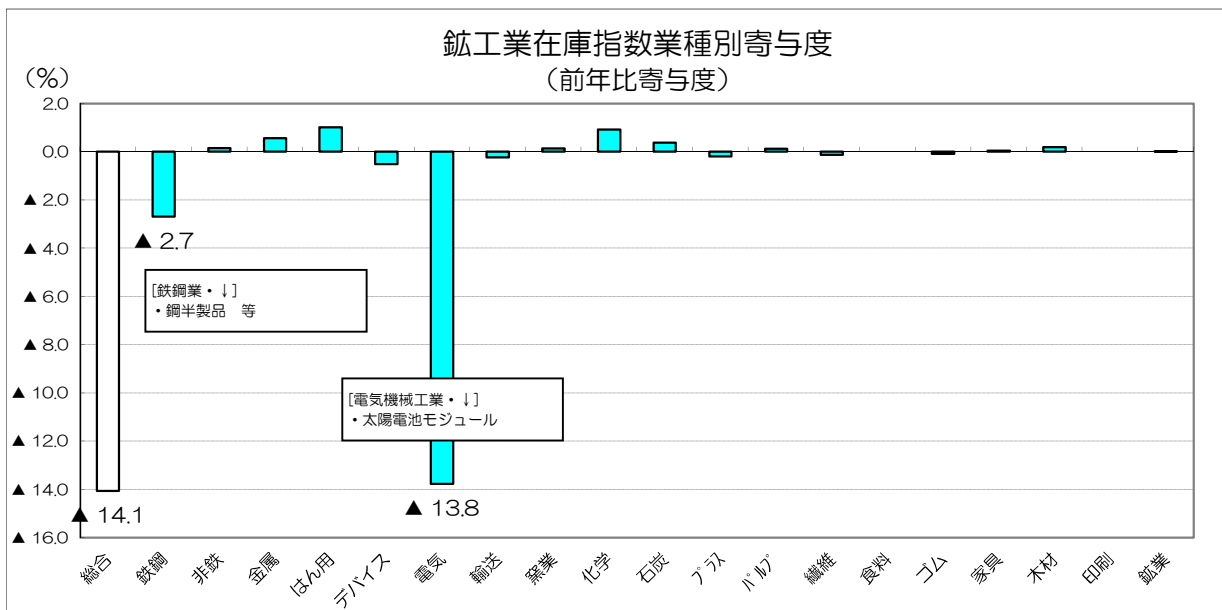
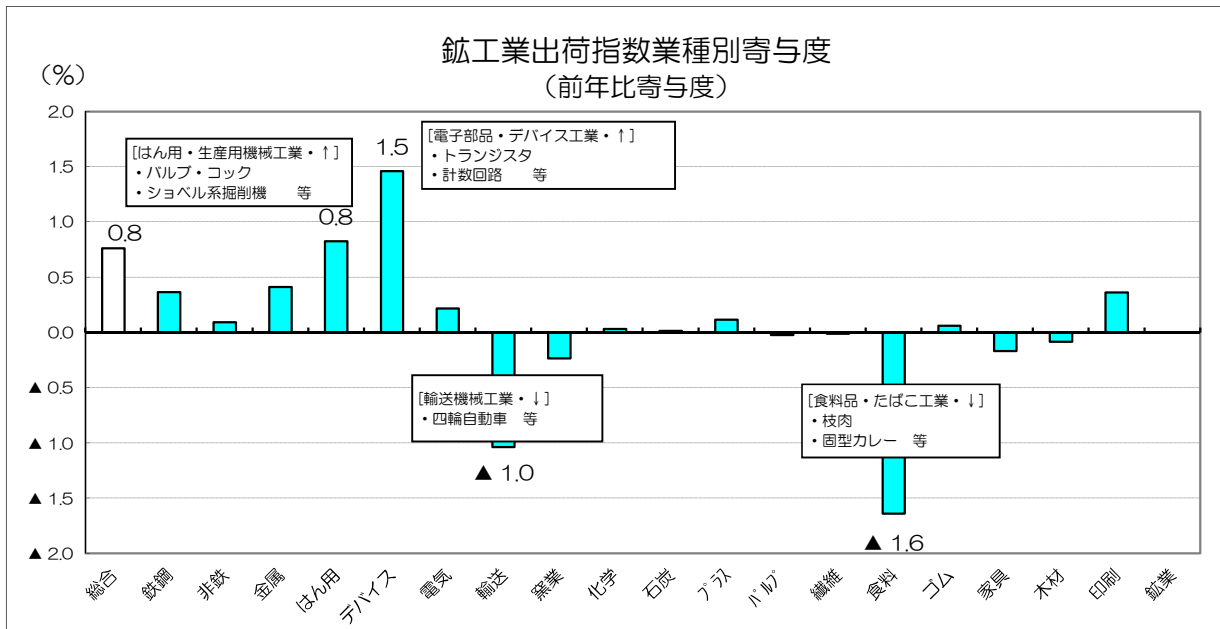
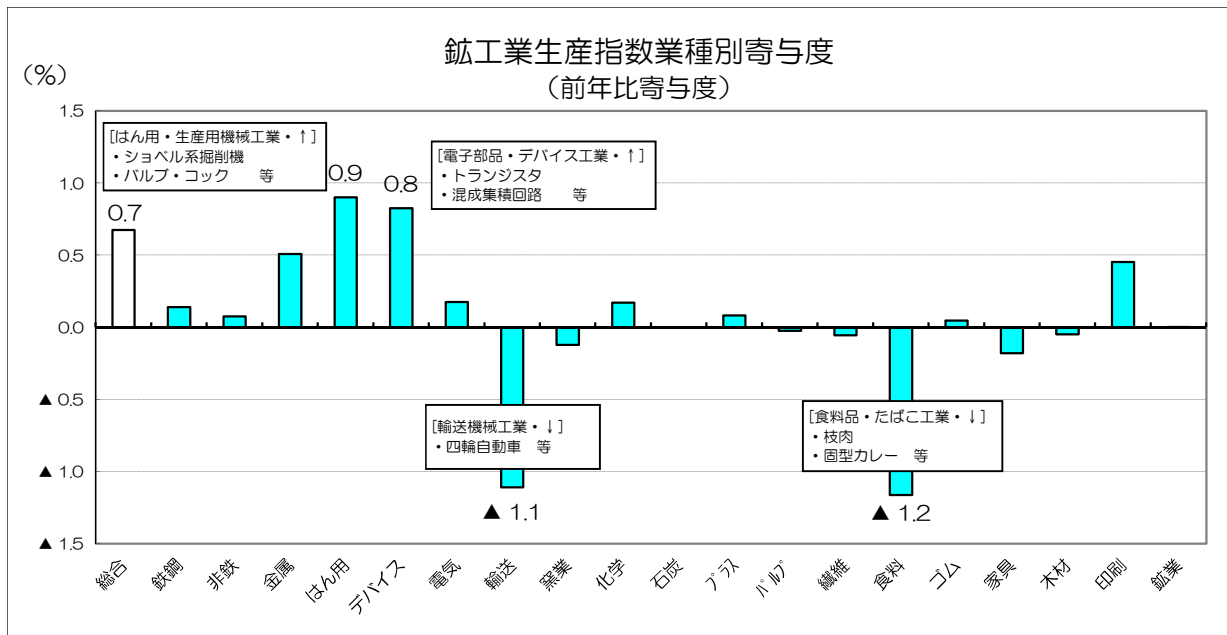
26年の在庫指数は134.4で、同14.1%減と5年ぶりの低下となった。  
業種別では、はん用・生産用機械工業、化学工業など10業種は上昇したものの、電気機械工業など7業種が低下した。



鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年				
						I	II	III	IV
生産	100.0	101.7	107.2	103.9	104.6	109.2	104.6	101.5	103.5
前期(年)比	—	18.9	1.7	5.4	▲3.1	0.7	7.0	▲4.2	▲3.0
前年同期比	—	—	—	—	—	6.2	0.2	▲4.1	0.9
出荷	100.0	102.8	108.6	105.1	105.9	110.7	105.1	103.2	104.9
前期(年)比	—	18.3	2.8	5.6	▲3.2	0.8	7.2	▲5.1	▲1.8
前年同期比	—	—	—	—	—	7.0	▲1.0	▲4.0	1.3
在庫	110.0	120.8	130.6	156.4	134.4	128.5	145.1	140.7	133.3
前期(年)比	—	14.9	9.8	8.1	19.8	▲14.1	▲17.6	12.9	▲3.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.6	10.4	▲2.6	▲14.1



※枠内の品目については、各業種の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載

(2) 財別動向（生産・在庫の詳細はp.38以降を参照）

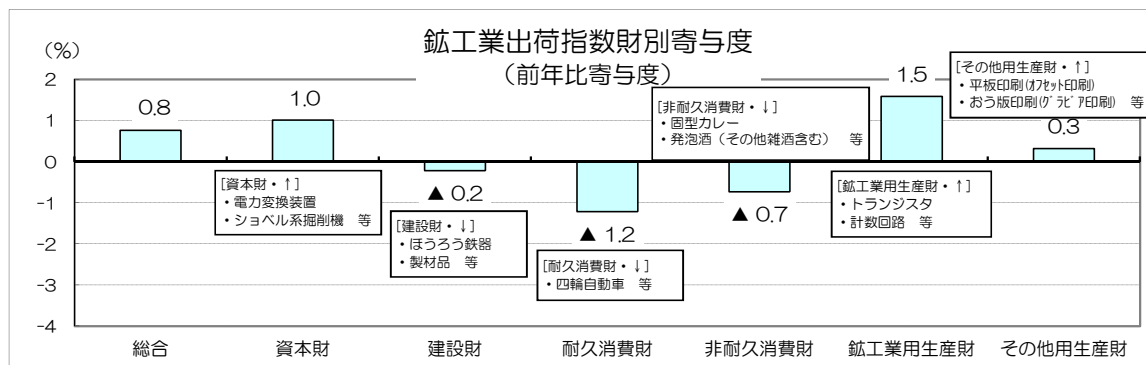
財別の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して最終需要の動きを把握することができる。

- 総合出荷指数は105.9で、前年比0.8%増で2年ぶりの上昇となった。最終需要財は同1.8%減と2年連続の低下となった。生産財は同4.9%増と2年ぶりの上昇となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、電力変換装置、ショベル系掘削機などが上昇したため、同14.7%増で2年連続の上昇となった。建設財は、ほうろう鉄器、製材品などが低下したため、同2.7%減と3年ぶりの低下となった。耐久消費財は、四輪自動車などが低下したため、同3.7%減で2年連続の低下となった。非耐久消費財は、固型カレー、発泡酒（その他雑酒含む）などが低下したため、同4.1%減で2年連続の低下となった。
- 生産財のうち、鉱工業用生産財は、トランジスタ、計数回路などが上昇したため、同4.6%増と2年ぶりの上昇となった。その他用生産財は、平版印刷（オフセット印刷）、おう版印刷（グラビア印刷）などが上昇したため、同7.5%増と5年連続の上昇となった。

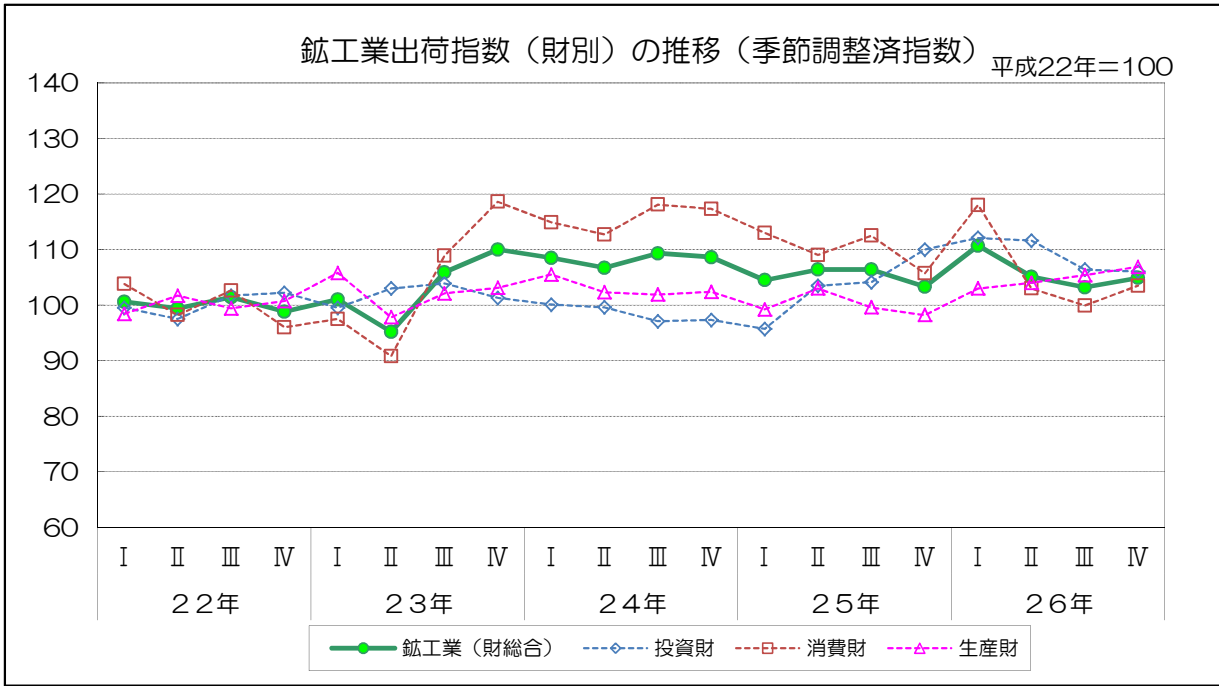
鉱工業出荷指数（財別）の推移（年は原指数、四半期は季節調整指数）

平成22年＝100

	22年	23年	24年	25年	26年	I	II	III	IV
鉱工業総合	1000	1028	1086	1051	1059	110.7	105.1	103.2	104.9
前期（年）比	18.3	2.8	5.6	▲3.2	0.8	7.2	▲5.1	▲1.8	1.6
前年同期比	—	—	—	—	—	7.0	▲1.0	▲4.0	1.3
最終需要財	1000	1034	1120	1084	1065	116.0	105.9	101.3	103.7
前期（年）比	16.8	3.4	8.3	▲3.2	▲1.8	8.9	▲8.7	▲4.3	2.4
前年同期比	—	—	—	—	—	9.1	▲2.3	▲9.6	▲3.0
投資財	1000	1019	988	1033	1088	112.1	111.6	106.4	106.0
前期（年）比	8.8	1.9	▲3.0	4.6	5.3	1.9	▲0.4	▲4.7	▲0.4
前年同期比	—	—	—	—	—	17.4	8.9	0.9	▲4.0
資本財	1000	104.1	92.8	95.9	110.0	109.4	114.0	109.6	109.7
前期（年）比	24.4	4.1	▲10.9	3.3	14.7	3.0	4.2	▲3.9	0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	24.7	22.2	11.2	3.5
建設財	1000	99.7	104.8	110.7	107.7	114.4	111.8	102.7	102.2
前期（年）比	▲3.2	▲0.3	5.1	5.6	▲2.7	1.1	▲2.3	▲8.1	▲0.5
前年同期比	—	—	—	—	—	10.8	▲1.0	▲8.7	▲10.5
消費財	1000	103.8	116.1	110.0	105.8	118.0	103.0	99.9	103.5
前期（年）比	19.5	3.8	11.8	▲5.3	▲3.8	11.6	▲12.7	▲3.0	3.6
前年同期比	—	—	—	—	—	6.6	▲5.4	▲12.4	▲2.7
耐久消費財	1000	111.6	128.5	120.4	116.0	132.4	115.8	106.3	110.9
前期（年）比	38.3	11.6	15.1	▲6.3	▲3.7	16.0	▲12.5	▲8.2	4.3
前年同期比	—	—	—	—	—	10.3	▲4.3	▲15.1	▲4.3
非耐久消費財	1000	92.4	97.8	94.6	90.7	93.7	86.8	90.2	92.4
前期（年）比	▲0.4	▲7.6	5.8	▲3.3	▲4.1	▲0.1	▲7.4	3.9	2.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.0	▲7.5	▲7.6	0.0
生産財	1000	102.0	103.2	99.9	104.8	103.0	104.0	105.4	106.9
前期（年）比	20.8	2.0	1.2	▲3.2	4.9	4.9	1.0	1.3	1.4
前年同期比	—	—	—	—	—	3.7	1.3	5.8	8.8
鉱工業用生産財	1000	101.9	102.3	98.5	103.0	100.8	102.0	104.0	105.2
前期（年）比	22.9	1.9	0.4	▲3.7	4.6	4.3	1.2	2.0	1.2
前年同期比	—	—	—	—	—	2.6	1.0	5.8	8.9
その他用生産財	1000	102.7	111.8	113.3	121.8	124.2	118.4	120.3	124.1
前期（年）比	4.2	2.7	8.9	1.3	7.5	9.1	▲4.7	1.6	3.2
前年同期比	—	—	—	—	—	12.1	3.4	6.2	8.4

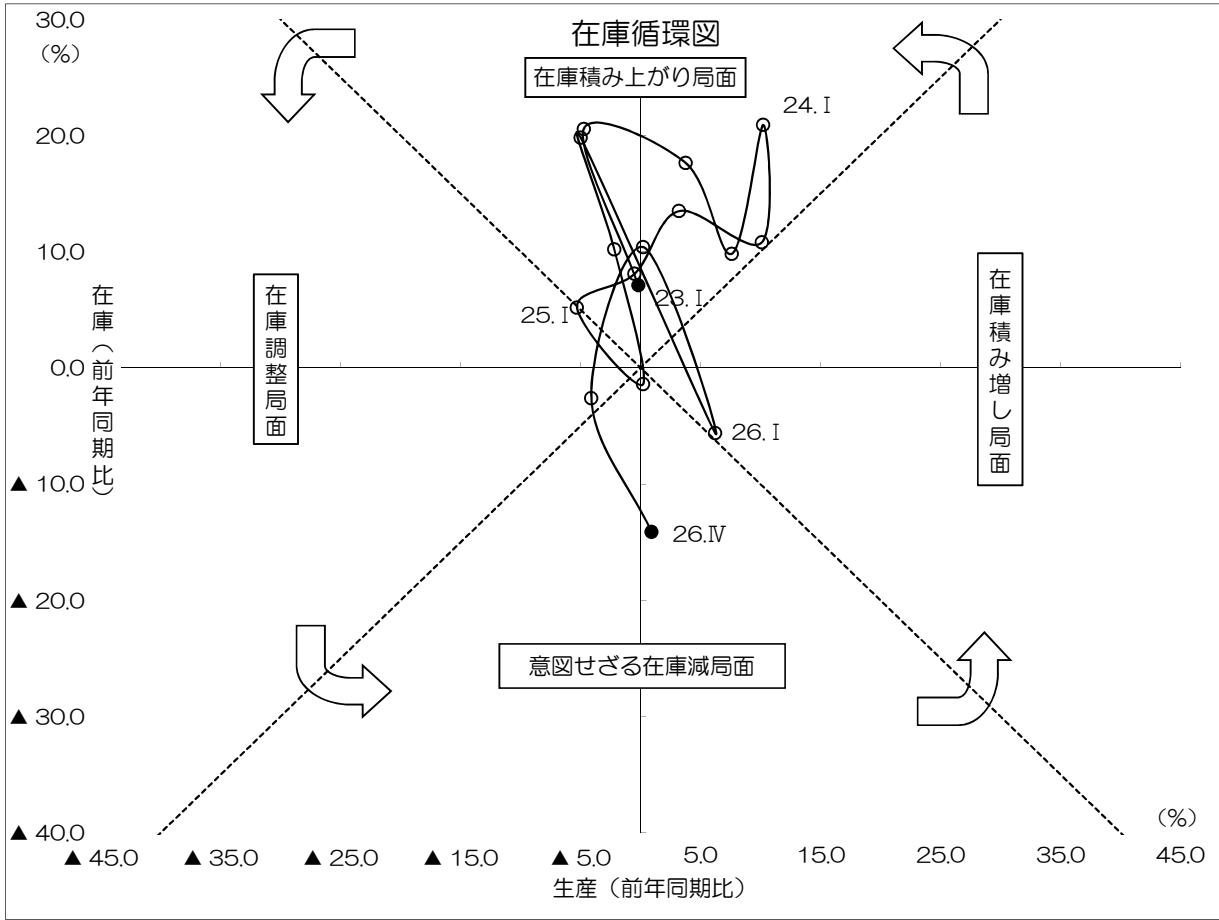


※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載



(3) 在庫循環図

在庫循環状況を見ると、26年は「在庫積み増し局面」から「在庫積み上がり局面」へ推移し、その後「在庫調整局面」を経て「意図せざる在庫減局面」へと推移している。



※在庫循環図の見方  
 横軸に生産、縦軸に在庫の前年同期（期）比をとり、生産と在庫の関係から現状を判断する。  
 一般的に、右斜め上45°より下にあるときは景気の回復期で、上にあるときは後退期と考えられる。